

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2008-193349(P2008-193349A)

【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-24732(P2007-24732)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/57 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/57

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放送番組に係る映像データを受信し、前記放送番組の映像を出力する映像出力装置であって、

前記放送番組の放送時間情報を取得する取得手段と、

前記放送番組の放送時間情報を用い、前記放送番組の映像の出力を開始した時点における前記放送番組の残時間を算出する算出手段と、

前記映像データを調整する映像調整パラメータを生成する生成手段と、

前記映像調整パラメータを前記映像データに適用して出力する出力手段とを有し、

前記生成手段が、前記残時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値を抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする映像出力装置。

【請求項2】

前記取得手段が、前記放送番組のジャンル情報をさらに取得し、

前記生成手段が、前記ジャンル情報に応じて予め用意された映像調整パラメータを前記残時間に応じて補正することにより、前記残時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値を抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする請求項1記載の映像出力装置。

【請求項3】

前記生成手段は、前記生成した前記映像調整パラメータの上限値を、前記放送番組の映像の出力を終了するまでの間は変更しないことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の映像出力装置。

【請求項4】

さらに、前記放送番組の映像の出力を開始した時点からの経過時間を計測する計測手段を有し、

前記生成手段が、前記経過時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値をさらに抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする請求項1又は請求項2

に記載の映像出力装置。

【請求項 5】

前記映像調整パラメータは、ピーク輝度、コントラスト及び彩度であることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 までのいずれか 1 項に記載の映像出力装置。

【請求項 6】

放送番組に係る映像データを受信し、前記放送番組の映像を出力する映像出力装置の制御方法であって、

前記放送番組の放送時間情報を取得する取得工程と、

前記放送番組の放送時間情報を用い、前記放送番組の映像の出力を開始した時点における前記放送番組の残時間を算出する算出工程と、

前記映像データを調整する映像調整パラメータを生成する生成工程と、

前記映像調整パラメータを前記映像データに適用して出力する出力工程とを有し、

前記生成工程が、前記残時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値を抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする映像出力装置の制御方法。

【請求項 7】

前記取得工程が、前記放送番組のジャンル情報をさらに取得し、

前記生成工程が、前記ジャンル情報に応じて予め用意された映像調整パラメータを前記残時間に応じて補正することにより、前記残時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値を抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする請求項 6 記載の映像出力装置の制御方法。

【請求項 8】

前記生成工程は、前記生成した前記映像調整パラメータの上限値を、前記放送番組の映像の出力を終了するまでの間は変更しないことを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 記載の映像出力装置の制御方法。

【請求項 9】

さらに、前記放送番組の映像の出力を開始した時点からの経過時間を計測する計測工程を有し、

前記生成工程は、前記経過時間が長いほど前記映像調整パラメータの上限値をさらに抑制するように前記映像調整パラメータを生成することを特徴とする請求項 6 又は請求項 7 記載の映像出力装置の制御方法。

【請求項 10】

前記映像調整パラメータは、ピーク輝度、コントラスト及び彩度であることを特徴とする請求項 6 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載の映像出力装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の目的は、放送番組に係る映像データを受信し、放送番組の映像を出力する映像出力装置であって、放送番組の放送時間情報を取得する取得手段と、放送番組の放送時間情報を用い、放送番組の映像の出力を開始した時点における放送番組の残時間を算出する算出手段と、前記映像データを調整する映像調整パラメータを生成する生成手段と、映像調整パラメータを映像データに適用して出力する出力手段とを有し、生成手段が、残時間が長いほど映像調整パラメータの上限値を抑制するように映像調整パラメータを生成することを特徴とする映像出力装置によって達成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上述の目的は、放送番組に係る映像データを受信し、放送番組の映像を出力する映像出力装置の制御方法であって、放送番組の放送時間情報を取得する取得工程と、放送番組の放送時間情報を用い、放送番組の映像の出力を開始した時点における放送番組の残時間を算出する算出工程と、前記映像データを調整する映像調整パラメータを生成する生成工程と、映像調整パラメータを映像データに適用して出力する出力工程とを有し、生成工程が、残時間が長いほど映像調整パラメータの上限値を抑制するように映像調整パラメータを生成することを特徴とする映像出力装置の制御方法によっても達成される。